

世界陸上大会における会場運営等に係る実施計画策定及び運營業務委託について

今後予定する標記の契約については、総合評価方式の一般競争入札により事業者を選定することで、履行の品質を確保・向上させるとともに、以下の取組により、競争性及び公正性の確保を図ります。

1 競争性の確保に向けた取組

(1) 本契約の先行契約 ([世界陸上大会における会場運営等に係る基本計画策定等業務委託](#)) の成果を委託期間中に活用した資料 (当財団及び先行契約の受託者が作成した成果物に至るまでの検討資料等※) と併せ、本契約の入札参加者に対して等しく公平に情報提供・周知します。

※ 【入札参加者への提供予定資料】

成果物一式、打合せ議事録、財団から受託者に提供した資料一式、受託者から財団に提供された資料一式

(2) 多くの事業者にも本契約への入札参加を促すために、特定の業種に偏らないよう、国際スポーツ大会の実績等に係る入札参加要件を緩和 (※) するとともに、共同企業体 (JV) での参加も認めます。また、国内のみならず、幅広く海外事業者の入札参加を促すために、WTO 案件に準じた英語による案件概要の公表を行います。

※ (例) 大規模国際大会などの経験・実績を求めない など

(3) 総合評価における提案書作成期間を通常より長く設定し、経験豊富な事業者以外も応札しやすい環境を整えます。

(例) 通常の設定期間が3週間のところ、4週間に設定

(4) 入札参加希望者の準備を促し、一層の入札参加促進を図るため、事前に発注規模 (価格帯) を公表します。公表する発注規模 (価格帯) は東京都の基準を準用し、公表は、案件公表前と案件公表時に2回実施します。

2 公正性の確保に向けた取組

(1) 技術提案を審査する技術審査委員会の委員の半数以上を外部委員とします。

(2) 技術提案様式の統一化や、ヒアリングのオンライン化などを通じて、審査時の個人または事業者の特定を防ぐ対応を図ります。

(注) 公表時点における予定のため、本契約が発注されない場合や内容が変更になる場合等があります。